

# 彩湖

だより

SAIKO

季節の話題

## 秋の七草

秋は収穫の時期ですが、学習センターではサクラソウやヒガンバナが咲き終わった後の除草、ミゾコウジュの植栽や水生植物の植え替え、種まき、スズメシの卵の保護などの作業が続きます。キク科の野草も多くなり、紅葉も楽しめるよい季節になります。

秋といえば秋の七草「萩の花、尾花、葛花、撫子の花、女郎花、また藤袴、朝顔の花」ですが、昭和に入ってから別に新しい秋の七草が選ばれたことがあり「ハゲイトウ、コスモス、ヒガンバナ、イヌタデ、シュウカイドウ、キク、オシロイバナ」が挙げられています。



白ガモ



モズ



ツグミ



コガネグモ



トノサマバッタ



キンクロハジロ



キクイモ



オオカマキリ



ヨバネイナゴ



ヒガンバナ



オオオナモミ



セイタカアワダチソウ

### 彩湖自然学習センター内の ＜鳥＞に関する展示を紹介しながら、 ここで見られる鳥を取り上げます。



#### 彩湖自然学習センター



ホオジロ

ミニ彩湖を巡る木道わきにはヤナギ・クヌギなどの木が植えられています。クヌギの梢で「チョッピー チリー チョチック」などと早口ですがとてもよく通る声で鳴いている鳥がいます。ここは俺の縄張りだと、木のでっぺんから周りに向かって叫んでいるのでしょうか。顔に黒白の模様があって、スズメより長めの尾で、腹は茶色をしています。ホオジロです。地方では山スズメなどとも言われることがあります。

このホオジロの鳴き方を昔の人は、「一筆啓上仕り候」または、「源平ツツジ 白ツツジ」とも聞こえたと言っています。皆さんもぜひ、【彩湖自然学習センター】に来て聞いてください。皆さんにはどんなふう聞こえるでしょうか。



#### 水辺シアター



カワセミ

次に、ヤナギの木をよく見ているとエメラルド色をした鳥を見つけられる幸運にめぐり会うことがあります。カワセミです。スズメと同じ位の大きさで、青い背とオレンジ色の腹が特徴です。カワセミを見られた人も見られなかった人も彩湖自然学習センターの室内バードウォッチングもしてください。飛ぶ宝石とも言われているカワセミをはじめ、カルガモ、ゴイサギ、タシギ、キセキレイ、キジ(オス)、トラツグミ、モズ(オス)などの標本を2階【水辺シアター】で見ることができます。

カワセミはめったには見られませんが、ホオジロやモズは比較的によく見られます。センター西側のスロープではスズメ、ムクドリ、キジバト、ハシボソガラスの4種の鳥は毎日見られます。たくさんの方が知っているこの4種の鳥は、ほかの鳥を見たとき、「スズメくらいの大きさで」などと説明できますので、とても大切な鳥です。



#### 彩湖・中の島・植生いかだ



カワウ・マガモ

彩湖自然学習センター5階から屋上に出ると、望遠鏡があります。この望遠鏡で【彩湖】を見てください。幸魂大橋を和光方面に向かって左側に、赤白色の鉄塔が立っている【中の島】や人工の島の【植生いかだ】にアオサギ、カワウなどの水鳥を見ることができます。アオサギはサギの仲間では1番大きな鳥で、正面からは白っぽく、横や後からは灰色に見えます。翼は青黒色で、頭の後には飾羽があります。体全体が黒っぽく見えるカワウは隊列を作って飛んでいる姿や水にもぐって魚をとったりしているのが見られます。でもカワウは他の水鳥に比べ、羽に水分をはじく油分が少ないので、翼を広げて羽を乾かしていることが多いようです。



#### フィールドさいじき



チョウゲンボウ

さて、鳥たちは1年中見られる仲間や旅の途中に立ち寄りたりする仲間などがいます。4月下旬頃見られたコムクドリも、北の山から秋には南をめざして、ここ彩湖にも立ち寄ってくれることでしょう。

5階の【フィールドさいじき】に春夏秋冬ごとに見られる鳥と植物の写真が展示されています。秋のところにはチョウゲンボウ・カワラヒワなどの鳥とキクイモ・ヒガンバナ・イヌタデなどの植物がのっています。また冬のところには、コミミズク・マガモなどが紹介されています。これらも参考にバードウォッチングを楽しんでください。

## ◆彩湖自然学習センターでは……

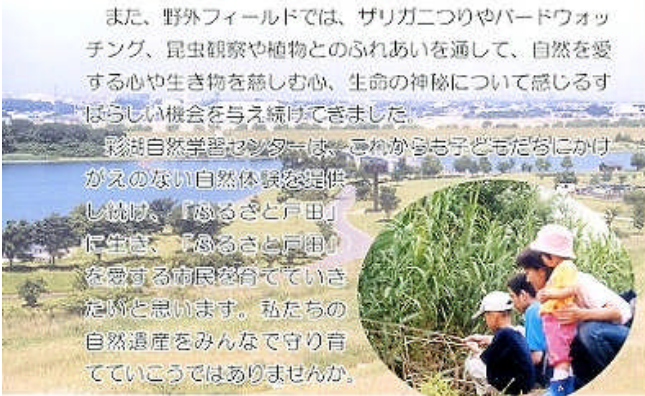
人工密集地の首都圏のまん中に、水辺や原っぱ、そして比較的背丈の高い草原、屋敷林などの豊かな自然が広がる彩湖・道満グリーンパークは戸田市が誇るすばらしい自然遺産です。この自然を守り、育てていくことは戸田市の大きな使命です。その中に、私たちの彩湖自然学習センターがあります。

彩湖自然学習センターは「自然と地域への関心を醸成し、自然の不思議を理解する学習を支援し、自然環境を保護する心をはぐくむこと」を目的に、「川をテーマに、自然・文化の育成を促し、地域に優しいまちづくりに貢献し、市民と共に成長するミュージアム」を目指して平成9年6月1日に開館して以来多くの講座を開催し、学校教育との連携を推進してきました。昨年度は来館者がのべ20万人を突破することができました。市民や子どもたちに、憩いと安らぎの場を提供する施設として今後とも活動していこうと思っています。

常設展示では、荒川をテーマに魚類や鳥類、昆虫や植物などの生態を展示、説明したり、彩湖の役割について説明し来館者や子どもたちに大きな感動と自然を学ぶ意欲を喚起しています。

また、野外フィールドでは、ザリガニつりやバードウォッチング、昆虫観察や植物とのふれあいを通して、自然を愛する心や生き物を慈しむ心、生命の神秘について感じるすばらしい機会を与え続けてきました。

彩湖自然学習センターは、これから子どもたちにかげがえのない自然体験を提供し続け、「ふるさと戸田」に生き、「ふるさと戸田」を愛する市民を育てていきたいと思っています。私たちの自然遺産をみんなで守り育てていこうではありませんか。



## 彩湖自然学習センター講座

### 土・日曜は自然の中へ!

#### 春の七草・寄せ植えづくり 自然観察会

新春を間近に控えた師走のどかか晴れた日。「春の七草の寄せ植えに挑戦!!」お年寄りばかりでなく若いお母さん方も参加され、それぞれが個性豊かな寄せ植えが完成しました。



季節感がただよほうとした時間でした。今年のお正月はいつもとちょっと違ったお正月です。

#### 秘密の基地づくり

#### こども自然観察教室



オギの原っぱに出て、オギの穂やクズのツルを使って、さあ秘密の基地づくりの始まり。オギをかき分けかき分け、自分たちのスペース確保に汗びっしょり。「ここが入り口」、「ここには窓もつけよう」など、飾り付けを工夫しながら制作しました。できあがったら、お茶で乾杯!!

#### 彩湖周辺の野鳥

#### 野鳥観察会

彩湖は冬鳥の楽園。毎年たくさんさんの鳥が越冬に訪れています。今回は「ベニマシコ」がその美しい姿を見せてくれました。その美しさに、参加者は感嘆の声を挙げていました。先生の話では「ベニマシコを見るための探鳥会もある」とか、彩湖って最高ですね。



## 彩湖周辺散策

ビオトープとは生き物を意味する「Bios」と、場所を意味する「Topos」を合成したギリシャ語を語源とするドイツ語です。本来その地域にすむさまざまな野生の生き物が生きることのできる、ある程度まとまった空間をいいます。ビオトープは、池を中心に小さなバクテリアからミミズのような虫、それらを食べる魚や鳥や小動物、草や花、木などが集まり、自然のサイクルを保っているところです。

さて、彩湖（第一調節池）の目的の一つは自然保全です。彩湖を中心として、その周りの草原や十数個の池などが集まり一つの大きなビオトープを形成しています。昨年は雨量が少なかったことと記録的な猛暑のせいで、生物のゆりかごである周囲の小さな池は干上がってしまい、生き物にとっては受難の年でした。

ビオトープでは、ハンノキ、ヤナギなどの樹木、アシ、ヒメガマなど野草が風に揺れ、バッタやトンボなどの虫や

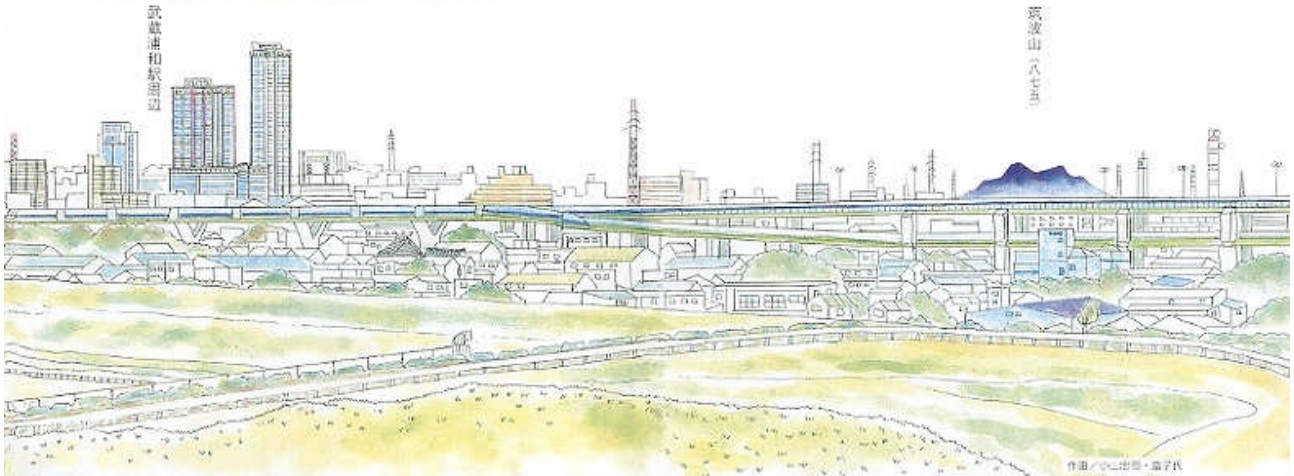
## 〈彩湖は大きなビオトープ〉

魚がたわむれ、鳥がさえずり羽を休めている光景がみられます。また、昼間はザリガニつりをする人間の親子のほのほのとした姿、夜は親子ダヌキの姿もあり、都会の中のオアシス的な存在といえるでしょう。

四角池とミニ彩湖



## ▶ 彩湖から見える山々・近景



彩湖から見える山々・近景は、彩湖だよりの創刊(2000年3月)よりvol.7(2005年10月)の今回で完結することになりました。この作画は、皆様より大変好評を頂いておりまして、市内在住の小山忠司様、小山富子様による献身的なご協力の賜物であります。この紙面をかりて感謝すると共に、兩人の今後のご活躍を切にお祈り致します。

さて、今回は、武蔵浦和駅周辺から南に向かって、遠方に筑波山(875m)を眺めて戸田市方面の風景になります。手前には、首都高速の高架橋が大宮から東京方面に並び、眼下には、美女木6丁目地区や彩湖・道満グリーンパークの一部(ソフトボール場等)が見られます。

当センター屋上は野鳥観察の最適な場所で、年間を通して約103種類の野鳥が観察されています。この季節では、野草はアキノノグシ、アレチヌスビトハギ、ヒガンバナ、タコノアシ等彩湖畔のヨシ原に群生しております。その早花にアキアカネ、ヒメアカタテハ、テントウムシ、エンマコオロギなどの虫たちが集まり、短い季節を名残りおしそうに過ごしております。

また、鳥たちはカイツブリ、バン、コサギなどが集い、時にはハヤブサが上空高く舞い上がって獲物をさがしている情景が見られ生存競争の厳しさが、垣間見られます。この自然豊かな彩湖・道満グリーンパークが「都会のオアシス」として私たちに一服の清涼剤になることを急ぎやみません。

## もよおしのご案内

- **自然観察会** (一般・親子対象)  
～春の七草の寄せ植え・春の七草がゆ～  
・12月18日(日)・(2006年)1月6日(金)
- **野鳥観察会** (一般・親子対象)  
～彩湖周辺の野鳥を観察する～  
・11月27日(日)・12月11日(日)  
・(2006年)1月22日(日)・2月19日(日)・3月19日(日)
- **こども自然観察教室** (小・中学生対象)  
～彩湖周辺の植物・昆虫等の観察会～  
・10月8日(土)・11月26日(土)・(2006年)1月21日(土)・2月25日(土)
- **こども自然クラブ** (小・中学生対象)  
～継続して自然体験・奉仕的活動を行う～  
・11月12日(土)・(2006年)2月18日(土)・3月18日(土)
- **親子ふれあい講座** (親子対象)  
～木の実を使ったリースづくり～  
・12月10日(土)
- **荒川探検隊** (一般・親子対象)  
～彩湖ウォーキング～  
・10月16日(日)

平成16年度  
来館者数  
**29,253人**  
開館日数：295日  
1日平均：99.2人

※開催日・内容等変更する場合がありますので、電話にてご確認ください。

## 彩湖自然学習センター

〒335-0031 埼玉県戸田市大字内谷2887番地  
TEL 048-422-9991 FAX 048-422-9993  
URL <http://www.city.toda.saitama.jp/sosiki/kyoikuinkai/saiko/>  
E-mail [kyo-saiko@city.toda.saitama.jp](mailto:kyo-saiko@city.toda.saitama.jp)

・この利用案内は紙面にやさしい再生紙を使用しています。

## ご利用案内

- **開館時間** / 午前10時から午後4時30分まで
- **休館日** / ①月曜日  
(ただし、この日が第1・第3月曜日に当たるときは除く)  
②年末年始(12月29日～1月4日の7日間)  
③館内整理日(毎月末日)  
(ただしこの日が土曜日・日曜日・休日に当たるときは除く)  
④その他教育委員会が必要と認めた日
- **入館無料**

## 交通案内

- **お車ご利用の場合**  
・東京外環自動車道 戸田西ICより約0.5km  
・新大宮バイパス 美女木交差点より約1km
- **電車ご利用の場合**  
・JR武蔵浦和駅から下巻目行きバス  
「修行目」バス停下車徒歩8分

